

オフィシャルカー（Sweeper）

<役割>

- ◎競技体制解除の権限を持つ。

SW が通過したら、競技体制が解除となる。オフィシャルやメディアの移動や撤収の許可を出す条件になるので、常に時間を意識して走行する

- ◎計時の補佐役

現場の計時結果の記録用紙は成績を出すための重要な資料のため、速やかに回収し、HQ に届けるようにする。

<事前作業>

- ◎リタイヤ車に対する対応の確認

リタイヤ車に対して、引き上げ作業等をどこまで行うかを競技長と確認しておく。

- ◎役割分担の確認（複数台の場合（SW1,SW2等）

SW1 と SW 2 の車種と役割を確認し、どちらが本来の SW 権限があるかを確認し、メディア、オフィシャルにも通達するように依頼

※一般的に、SW 1 が SW, SW 2 が排除車

- ◎備品

牽引ロープは原則、必要

- ◎記録用紙の回収の段取り

各ポジションの記録用紙の回収方法を事前に計時委員長と打ち合わせておく

ループする場合、00カーが先に HQ に戻るため00カーに1周目分の回収を2回目の最初に依頼することも検討。

<レキ>

<競技本番>

- ◎リエゾン

リタイヤ車、ミスコース車がないか RallyStream を常に確認しておく。

リエゾン走行中も SS 内も、リタイヤ届を提出していない競技車をトイレ・給油等のいかなる理由でも抜かないこと。

見かけた場合、選手に状況を確認し、競技続行の場合はその場にとどまる。

次の TC へ暴走することなく 15 分以上の遅着が予想される場合は、競技長と相談の上、リタイヤ（レグ離脱）の勧告を行う。

無線チャンネルは次の SS に合わせ、事前に SS 内のトラブルを認識しておく

◎TC1

前 SS STOP の通過台数と、次 TC の通過台数とリタイヤ情報を確認し、リエゾン内での行方不明車の有無を確認してから TC インする
時間調整は TC ではなく、SS スタートでおこなう。

◎SS スタート

山長にリタイヤ情報、懸念事項を確認
最終号車がスタートしたら、すぐにスタート

◎各ポジション

通過後に競技体制対所になる旨を伝える
※ S W 2 がいる場合はその旨も伝える

◎事故現場

無線対応のため、1人は車に残ること。
放置、寄せる、引き出す等の判断のため、可能なら写真を山長、HQ に送付
競技長、山長と相談し、対処方法を決める。
コース上に残す場合、三停板を設置し、そこまでの距離とその写真を送付
排除等をした場合、三停板の回収を忘れずに（競技車に載せる）

◎リタイヤ勧告

下記の規定に従い、競技長と相談の上、リタイヤ（デイ離脱）を通過。

SSラリー開催規定 第26条 スペシャルステージ

11. スタック等によりスペシャルステージのコース上に停止し、かつ**競技役員が後続車両に危険を及ぼすと判断した場合は、基準所要時間内であってもコースから排除されること**がある。この場合、当該車両はレグ離脱またはリタイヤとなる。

◎リタイヤ届

1 D a y の場合は、リタイヤ届を回収。
2 D a y の L e g 1 の場合、デイ離脱（翌日、再走予定）かリタイヤか確認し
それに沿った届を回収
いずれの場合も、**タイムカードも回収**

◎記録用紙回収

F F の記録用紙（プリンティングタイマーの短冊）、S T O P の通過時刻は特に重要

◎サービス

車両に問題ない場合、サービスはT C 処理して通過し、次のセクションをスタートしてH Q
にて競技長に報告、打ち合わせをし、休憩もH Q でのる